



教育センター・育成センター所報

GALILEI



第11回 柏崎の教育を語る会 ～ともに歩む“地域の学校”～
平成25年2月16日(土) アルフォーレ

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
★子どもは誰が育てるのか 子ども課長 松谷 範行
- 教育センターだより P 2
★アクセス(教育研究班) P 2
★プロジェクト K(科学技術教育センター) P 6
★心の窓(教育相談班) P 10
- 育成センター通信 P 11
- 3月の行事予定表 P 13
- 所員随想「つれづれ」 P 13
★鬼は外・福は内! 科学技術教育センター協力員 近藤 亜矢子

平成25年2月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

子どもは誰が育てるのか

子ども課長 松谷 範行



新政権として舵取りをしている自民党も「子育て支援」は大きな政策のひとつとなっていて、今回の大型補正予算でもその取り組みを進めてきました。昨年8月に国会で成立した「社会保障と税の一体改革」、いわゆる「子ども・子育て関連三法」の3党合意を踏まえて、幼児期から学齢期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進しようとするものです。同法の具体のスタートについては平成27年4月を目途としており、市としても十分な準備をしながら同法の具体の施行に備えているところですが、「認定こども園」をはじめとした保育環境の整備、子育て支援に係る給付の見直し、地域における子育て支援の推進、放課後児童クラブ対策などが謳われています。

さて、国は様々な政策や施策を展開していますが、実務を担当している私にはいささか疑問も残るところです。不適切な表現であればお許しいただきたいのですが、末端（というより市の窓口は最前線！？）では、その政策・施策から生ずる歪みや法の趣旨を履き違えた市民の権利意識だけが横行し、ついには「社会全体で子どもを育てる」が「社会全体が親に代わり子どもを育てる」という、無責任な親たちを増長させる結果になってしまいました。「産み育てる」という人間本来の尊厳まで捨てて、自分の生活を快適（楽）にしていこうというのは如何ということです。言い方を変えれば、少子化により「産む権利」だけが推奨され、「産み育てる義務」が欠落、その意識も希薄になりつつあると考え、危惧しているのであります。日常的に氾濫する子への身体的虐待やネグレクト（育児放棄）などは、親が親としての「認識」と「責務」を放棄し、また欠如しているという表れでもあります。以前から教育委員会内で叫ばれている「親教育」の重要性が身に沁みます。子育て支援にかかる行政としての次の一手は、ここに帰結するのでしょうか。

「親は、子の為に働く。我が子に不憫な思いをさせず、立派（健やかな）な成長を願って親は汗水流して働く」、その部分を社会が成り代わり育てるという意味ではありません。子育て支援策は、少子高齢化の時代に物心両面から豊かな子育てができるように、行政や地域・市民がその環境の整備に資する支援に取り組んでいくという「親へのサポート」でしかありません。市（教育委員会）も保護者も履き違えてはいけないのです。子育ては親の責任であり、また特権でもあるのです。

話は変わりますが、教育委員会に子ども課が移管されて3年が終わろうとしています。手前味噌ではありますが一定の効果を実感し、また幼保小の連携も地につきつつあります。教育委員会の施設として教育センター、子育て支援センターという支援・相談機能も充実しており、柏崎の子どもたちや保護者は条件的にも恵まれていると感じていますが、さらに活用して欲しいと思います。その中で親が愛しみをもって子育てを実践し、私たち社会全体がそこを支えていくという姿を期待してやまないなのであります。

■ 研修講座より

生徒指導研修「問題解決事例から学ぶ、毅然とした指導の具体」

◆1/29(木) 担当：学校教育課 上野 忠英 指導主事

研修1「新たな不登校を生まない取り組み」

研修ではまず、「事例から学ぶ不登校対応」というテーマで柏崎小学校の木村貴之教諭から、自校でチームとして取り組んだ不登校対応事例についての紹介がありました。教職員でチームを組んでその子の家族を支えていった過程が脚色なく語られ、管理職の先生を含む、学校としての、時間を惜しまない粘り強い対応が分かる事例発表でした。



講師の柏崎小学校 木村貴之教諭

研修2 「いじめ対応研修～どうしたらいじめを早期に解消できるのか～」



続いて、学校教育課上野忠英指導主事より、いじめの具体的事例3つの提示があり、その対応について参加者全員で考える演習を行いました。実際の対応を限られた時間で考えることは、対応力向上の要因のひとつです。その際、子どもや保護者がどう反応するかについて予測しながら行うことが大切です。このシミュレーションを繰り返すことの重要性を実感しました。

この演習での先生方の回答は上野主事が集約、後日、対応の指針を示しながら参加者へ戻すというスタイルをとりました。非常に示唆に富む具体的な内容です。ぜひ、各学校で今一度共有してください。

人の命を脅かすこと、人の存在を否定することについては、いかなる理由があろうとも**毅然とした指導対応**が必要である。

☆レベルオーダーをわきまえた指導
・茶髪、ピアス、腰パンなど個人的嗜好レベルの問題との区別

☆組織としての取組と事前の共通理解
・確固たる指導方針と全教職員のしっかりとした理解と実践

②初期対応
目的・・・①まず→いじめを止める！
②次に→再発防止！
③さらに→エスカレート、加害が被害に被害が加害に...阻止！
「救済」→「回復」→「見守り」

いじめを認めさせる
☆被害者も加害者も守るという姿勢
「今は被害者を助ける...そして、君も守る」
* 君も守るということは、いじめをした悪いやつと言われないようにすることだ。
* だから、君がいじめを認めることから始めるのだ。
そして、まずは被害者を救うことが先だ。

毅然とした指導とは...
・大声を出したり、怒鳴ったりすることではない。
・「切り捨て、排除」といった指導ではない。
・「ダメなことはダメ」と指導しながらも、児童生徒の心の浄化を目指すものである。単なる叱責ではない。
・いかなる問題行動にも、問題のある子・いわゆるいい子も関係なく同じように、平等に対応することである。

児童生徒(保護者)の安心感、学校(教職員)に対する信頼感・安定感が生まれる

また、左の3枚のスライドは上野主事が最も熱く語った部分のものです。1つ目のポイントとして、人の命を脅かしたり存在を否定したりする行為については「**いかなる理由があろうとも、毅然とした指導対応が必要**」と挙げています。それは個人的嗜好での問題とは異なることも指摘、組織として事前の共通理解をきちんと行った上で徹底することが大事であると述べています。

続いて2つ目として、初期対応では①いじめを止める、②再発防止、③救済、回復、見守りの中で**いじめを認めさせること**をポイントとして挙げています。ここでは「今は被害者を助ける...そして君も守る」という気持ちを子どもが感じるすることが大事、と語っています。

3つ目のポイントとして「**大声を出したり怒鳴ったりすること**」が「**毅然とした...**」を意味するのではないことを明確に伝えていました。日常の中で信頼関係を築き上げ、事例に該当する子もしない子も、平等に対応することが重要です。



科学技術の豊かな学びで、これからの社会を創る…

◆1/24(木) 新学習指導要領に基づく実践紹介(技術分野)

第一部 生物育成とエネルギー変換

講師 上越市立直江津東中学校 教諭 松風 嘉男 様



松風先生は、ペットボトルを用いた栽培活動から、生活を豊かにしていこうとする力を育むところまでねらいに含めました。これにより、電子観察日記やムービーを用いた栽培方法紹介動画、食用や燃料での利用を内容に取り入れるようになり、結果的に「エネルギー」「情報」等の領域を融合する形となりました。「まず、思いがあって、そのためにどんな学びを組み立てるか、という配置がとても大切である」と力説されていました。

第二部 バイオ燃料での発電について

講師 新潟工科大学 准教授 小野寺 正幸 様



小野寺先生は冒頭で「廃棄物から拝貴物へ」というキーワードを紹介、ご自身の夢を語っていただきました。そこでは、なぜ、バイオディーゼルでなければならないのかについて、資源循環サイクルの例である「菜の花プロジェクト」を例に紹介されました。このプロジェクトは、休耕田での菜の花の栽培から観光、搾油、油かす、廃油の再利用までの循環サイクルであり、バイオ燃料発電の考え方そのものです。今日の文明社会に浸っている私

たちは、現在の生活スタイルの負の部分を変えて感じるようになりました。

松風先生も小野寺先生も、「こんな子どもを育てたい、そして科学技術の力でこんな社会を実現したい！」という夢をもって実践されていることが伝わってきました。

保健体育の学びと実生活をつなげる

◆1/30(水) 新学習指導要領に基づく実践紹介(保健体育)

講師 糸魚川市立根知小学校 教頭 宮川 高広 様



体育が苦手な子も含め、「全ての子に運動量を確保し論理的な思考力も高めたい…」宮川先生のこの思いが、数々の実践を生み出していると感じる講座でした。中でもDS (Development Sport) の実践では、バレーボールのゲームに至る過程でファウストボウルやインディアカを取り入れながら指導を進めた事例を紹介されました。そこでは、片方の手のみを使用したりバウンドを可にしたりするなどの特別ルールのもと、技能の低い子でも達成感を得ることができる展開になっています。

この他、「保健体育で行う防災教育」「バレーボールを通して性差の問題を考える」「健康と環境」など、日常生活の中に保健体育の学びが生かされるような単元についての紹介もありました。いずれの場合も運動量を確保することと、思考力を高めることとの両立を図る内容で、今後の単元づくりの参考になりました。

第11回「柏崎の教育を語る会」2／16（土）

子どもの課題共有・協働

＊協働＝目的を共にし、一緒になって活動すること

詳細は特集号（3月発行）をご覧ください

開会 ～ 大倉政洋教育長の基調講演より

会では、まず、小黒昌司所長のあいさつの後、大倉政洋教育長より基調講演がありました。その終盤では「**いい学校はいい地域にできるし、いい学校を作ろうと皆で一緒に汗をかくことで、いい地域が形成される。…そして、また、いい地域にいい学校ができる。この連鎖、循環こそが、柏崎の教育がめざす姿**」という指針にあたる説明があり、会場全体で今後の向かうべき方向を確認しました。

子ども会議



席上、4人の子どもたちから、「自分たちも地域を活性化できる場を作ってほしい」「みんなで協力してひとつのことが達成できるような人間関係づくりができる場を」等、建設的な要望が出されました。文部科学省教科調査官の田村学氏もテレビ電話で会議に加わり、「子どもの行動力、発想力を信頼してほしいし、子どもたちも大人を信頼してほしい」とコメントをしてくださいました。

分科会から抜粋

A分科会	B分科会	C分科会
②この学区での「めざす子ども像」 ・積極性	②この学区で「めざす子ども像」 ・豊かな人間関係の構築をする。	②この学区で「めざす子ども像」 ・自らより良い人間関係をつくる力をもつ
③具体的アクション ・地域のお祭に計画段階から参加してもらうなどして「やってみて、やり遂げた経験をしてもらう」	③具体的アクション ・各活動では、子どもの承認・称賛・励ましの言葉を意識的に。	③具体的アクション ・地域の行事(出店)に子どもと大人の両方が出店するようにし、めざす子ども像を意識して活動するようにする。

分科会では、その地域での子どもの課題を共有しました（＝「ともにめざす」）。ここでは「積極性」「豊かな人間関係を構築する力」など、現象そのものよりも、その姿のもとになる「力」に焦点を当てた分科会もありました。また、具体的アクション（＝「ともに歩む」）として、既存の取組をもとに特に意識してやっていくこと、あるいは新規に取り組む活動案もあり、来年、その成果を「ともに語る」ことが今から楽しみな気がしてきました。

エピソード episode

高校生も記録係として参加

受付では、一中の横田先生をキャップに高校写真部の生徒が活躍しました。



えちゴン使用のリモコンはこうしてできた

超過勤務も何のその。センター職員が平然と創り上げました。（人件費かかっています。笑）



■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

講習会のテキスト、資料を登録しました

◆ 柏崎市教育情報支援システム／講習会テキスト

実施日	講座名／資料名
1/18	137_デジタルアルバム作成入門 デジタルアルバム作成入門.pdf (Windows Live ムビーメーカー編 テキスト第 1 版) jasrac.pdf (著作権手続きの案内)

◆ コンテンツサーバ(スクールオフィス)

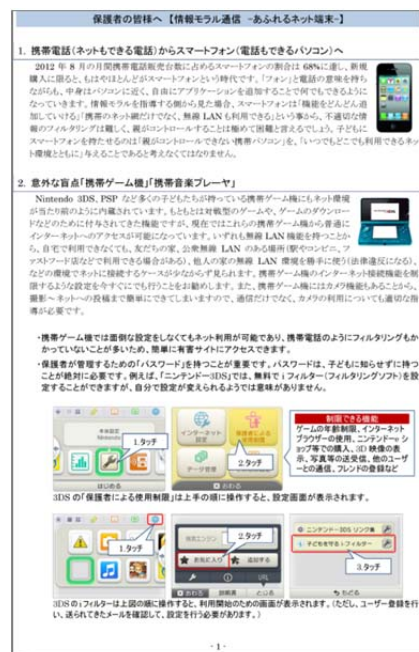
実施日	講座名／資料名
1/23	ALT News Letter 第 16 号
2/19	148_スクールオフィス年度更新講習 N011_年度更新講習 .pdf (テキスト第 4 版) 年度更新チェックリスト.pdf (第 3 版)

■ 情報教育：情報モラルの指導情報

◆ モラル指導用プレゼン、保護者向けの啓発資料を用意しています

今年度は、情報モラル指導の支援要請が例年になく多くなっています。特に携帯ゲーム機の利用に関する要望が多いことが特徴です。また、1 月以降、iPod などの音楽プレーヤに関する相談も増えています。いずれも、保護者には「ゲームをする機械」「音楽を聴く機械」という認識が強く、「ネットが利用できる」「写真や動画が撮れる」ものであり、携帯電話やスマートフォンと同様にペアレンタルコントロールが必要な機器であるという認識が不足しているようです。携帯ゲーム機は小学校低学年でも 8～9 割が所有していることから、今まで高学年を中心に行ってきた内容についても、部分的には低学年から指導する必要があるのではないのでしょうか。

教育研究班では、支援要請を受けて学校に出向いた際に使用するプレゼンや、保護者に配布するための啓発資料を用意しています。「スマートフォン」「ゲーム機」「音楽プレーヤ」などに関する注意喚起、携帯ゲーム機の保護者による使用制限、家庭のルールの作成などを盛り込んだ資料になっており、部分的な利用、修正しての利用なども OK です。で、各校における情報モラル指導にご活用ください。



■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

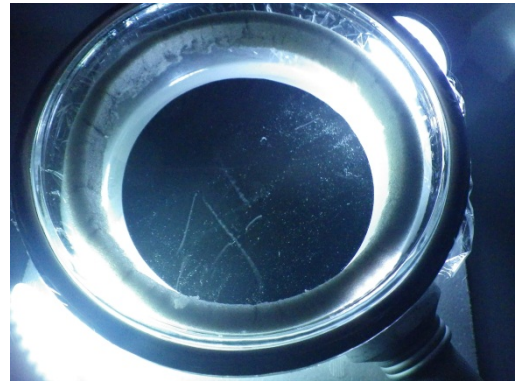
マイクロソフトより、2 月 13 日付で 2 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 5 件、「重要」が 7 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

研修会・事業の様子

- 要請研修 荒浜小学校5年生『放射線教育』 1月16日実施
 鯨波小学校6年生『放射線教育』 2月 8日実施

◇内 容

前半は「放射線の3つの特徴を知ろう!」ということで、放射線を白熱電球の光に置き換えて考えました。特徴1「たくさん浴びると危ない!」特徴2「人から人へはうつらない!」特徴3「ものを通りぬける力がある!」これらの3つの特徴を、活動を交えながらおさえていきました。後半「放射線ってなんだろう?どこにあるのかな?」を課題として、身近にあるものから出る放射線を測定する実験を行いました。「教室にも飛んでいるのか。」と驚きを隠せない子どもたち。また、霧箱の実験もして、実際に放射線の飛跡を観察しました。「本当に飛んでいるんだね。」と、つぶやく子どもたち。身のまわりにある自然放射線を実感しているようでした。「少しだったら大丈夫。でも、たくさん放射線を浴びることになってしまったら・・・。」そんなときの命の守り方を、この日の最後に学習しました。



霧箱実験「放射線の飛跡を見よう」

○中2『天気の変化』研修会 1月29日実施

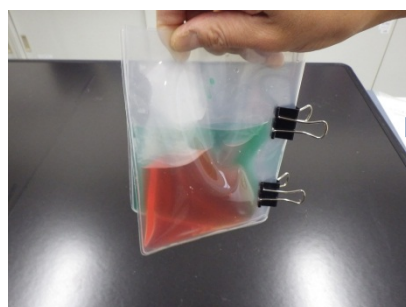
◇内 容

天気という身近な現象を生徒の日常生活と関連付けながら、授業を展開していくための工夫を紹介しました。また、簡易雲発生装置やクリアケースを使った前線モデルの製作を行い、生徒実験として活用できそうか検討しました。後半では、生徒がつまずきやすい前線通過に伴う風向の変化について参加者同士で意見交換が行われ、研修を一層深めることができました。

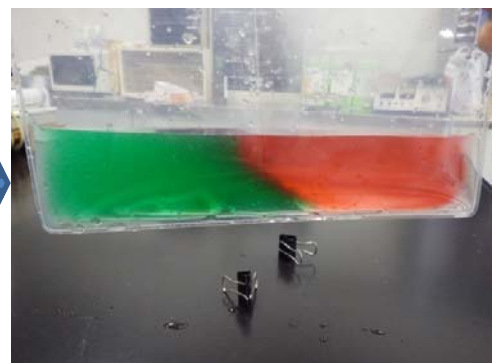
前線モデルの製作について

ちょっと詳しく・・・

半分に折ったクリアケース。できた2つのポケットに、温度差のある色水をいれます。それをそっと開くと右の写真のようになります。これが、ク



活発な意見交換風景



前線面が見えるかな?

リアケースで作った前線です。

左側に冷たい水（緑）、右側に温かい水（赤）が入っています。冷たい水が下に潜り込み、温かい水が上の方にいつているところがきれいに分けています。水の中に高吸水性ポリマーを入れる方法も紹介されていますが、水だけでも簡単にきれいに観察できます。また、自然にもやさしく、気兼ねなく流せるので始末も簡単、お勧めです。2つの温度差は1℃程度（温度差を小さくすることがポイント）あれば十分に観察できます。この実験方法は研修時に紹介させていただきました。研修には参加できなかったけれど、もう少し詳しく知りたいという方はセンターまでお問い合わせください。

○学校研科学教育研究部主催 （柏崎刈羽地区科学技術教育センター共催）

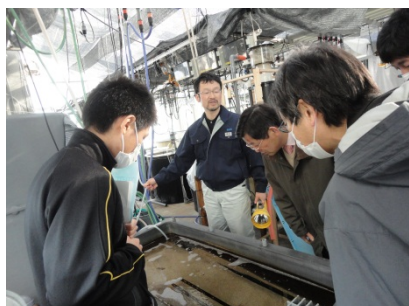
『教師自ら楽しむ施設見学と実習～魚の解剖実習～』 2月5日実施

◇内 容

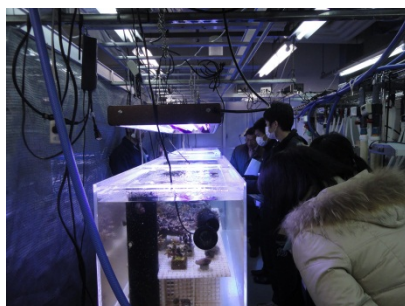
荒浜にある海洋生物環境研究所で研修会を行いました。研修の内容は、施設見学と魚の解剖実習でした。2月とは思えない天気の良い日で、屋外の施設も十分に見学することができました。海水の温度変化に伴う海の生物の生活や様子の変化、水中の二酸化炭素濃度の増加に伴う生態系への影響などが研究されています。理科はもちろん、総合学習など学校教育でも生かせそうなヒントがたくさんありました。

後半は魚の解剖実習を行いました。解剖に適した魚の適当なサイズと、内臓の保存状態が大切であることを教えていただきました。この時期はマアジがいいそうです。旬の魚を選ぶと脂肪がのり、かえって観察しにくいそうです。

以上のように、この施設に勤める専門性の高い研究員の皆さんが丁寧に教えてくださったおかげで、この研修会の名前どおり参加者自身が楽しめる研修会となりました。「学校でも自信をもって子どもたちに演示できそうだ。」「身近な海を研究する施設だと知り、ぜひ子どもたちと利用する可能性を探っていきたい。」などの感想をいただきました。



施設内見学①「貝の観察」



施設内見学②「サンゴの生態観察」



解剖実習「マアジの解剖」

貸出できます！備品教材紹介

<磁化用コイル（付磁装置）>

棒磁石やU型磁石などの磁力を強くすることができる道具です。学校の理科室の磁石でいまいち磁力が・・・と思われるものがありましたら、センターにて着磁させていただきますので



申し付けください。装置の貸出も可能です。

<簡易雲量観察器>

透明半球の内側を黒く塗っただけのこの道具。

雲量は全天の雲を割合で示しますが、この装置を使うと簡単に全天の観察ができます。8個用意してあります。



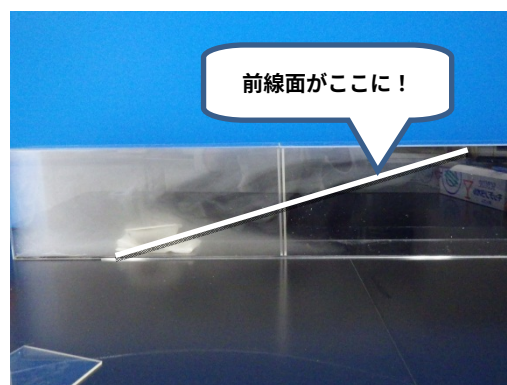
<前線モデル観察器>

アクリル板で作りました。商品ならば1万3千円ぐらいで売っているものです。手作りのため、液体を入れると漏れてしまうのですが、気体ならこんなにきれいに前線面が見えます（右下写真参照）。水槽の横幅を長くすることで前線の動きをゆっくりと観察することができます。

センターには1つご用意してあります。もし、必要でしたらお作りすることもできます。ご相談ください。



中央の仕切りを
あげてみると・・・



上の左の写真を見てください。中央に仕切りがあります。左の部屋には線香を入れて空気を温めています。仕切りを上げると温かい空気が右の冷たい空気の上の方にのぼっていく様子が観察できます（上の右写真参照）。

<デジタル温度計>と<簡易真空槽>

天気単元で、気圧が下がると温度が下がるということを児童生徒に見せるときにお使いください。簡易真空槽を使えば、簡単に容器の中の気圧を下げられます。同時に中にデジタル温度計を入れておけば、タイムリーにその減圧した容器中の温度が分かるわけです。ぜひご活用ください。



<金属膨張試験器>

金属球膨張試験器を8個用意してあります。多くの児童が観察・実験を主体的に行うために、教材の数や見通した準備が必要です。学校のものではちょっと数が足りない！というときに、どうぞご利用ください。



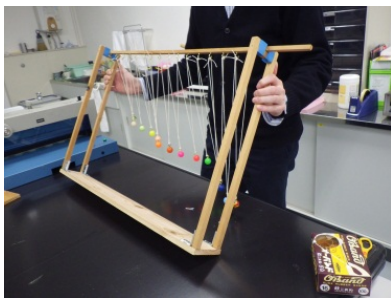
☆貸出できます！面白グッズ☆

センターで作ったアイデア
商品を紹介します！

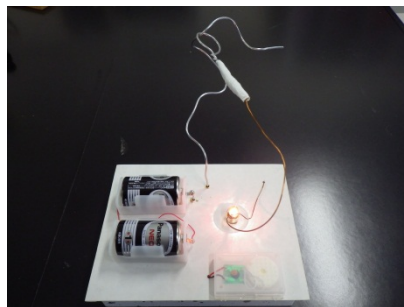
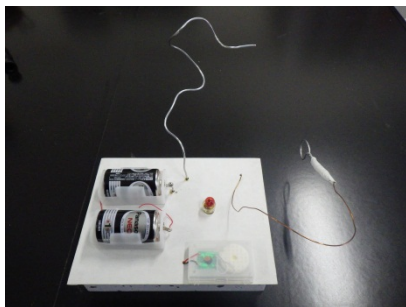
<ふりこ運動観察器>

ふりこの長さを少しずつ変えて、スーパーボールを取り付けました。これを傾けて揺らしたら、スーパーボールはどんな運動をすると思いますか？

ふりこの往復時間はふりこの長さによって決まります。少しずつ長さの違うふりこは往復時間が少しずつ違います。うまくいくと、全部のスーパーボールは波を打つように運動するのでとても分かりやすいです。



<イライラ棒>



「イライラ棒」を作ってみました。中央に立っている、ぐにゃぐにゃアルミ棒に当たらないように、白い取っ手がついた金属リングを下から上に抜く遊びです。あなたは、ぐにゃぐにゃのアルミ棒に1回もあて

ずにリングをぬくことができるかな？金属のリングがアルミ棒に当たると回路が出来上がり、電流が流れます。すると右の写真のように赤ランプがついて、音が鳴る仕組みになっています。理科室前にあったら、子どもたちが喜びそうですね。

春のおとずれ・・・

立春が過ぎました。寒い日が続いていますが、春はすぐそこまで来ています！（センターの周りで見つけました）



チューリップの芽



アジサイ新芽

ご注意ください！！

【事例】

・ミョウバンの結晶づくりにおいて、着色を目的として水彩絵の具を混ぜたところ、気体発生とともに硫化水素臭があった

【要因】

・青色の水彩絵の具の中にウルトラマリンという物質が含まれており、このウルトラマリンの中に硫黄が含まれている。
・硫酸カリウムアルミニウム（ミョウバン）水溶液は酸性であり、青色の水彩絵の具を混ぜたことによって、絵の具中の硫黄と反応し、硫化水素が発生したと考えられる。
補足…全ての水彩絵の具には、炭酸カルシウムが含まれているため、ミョウバン水溶液に入れると、二酸化炭素が発生する。

心の窓

No.162

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

ルーシーダットン(1/28) & 豆まき(2/4)



1月28日、ふれあいルームでは冬の恒例になったルーシーダットン教室がありました。ルーシーダットンは「仙人体操」を意味していてタイ式のヨガのようなもの。今年も渡辺美香先生に来ていただき、冬の寒さで硬くなった体をほぐして伸ばしてリフレッシュ♪1時間30分のコースだったので、終わるころには体がポカポカになって、体の中の悪いものが流れ出ていく感じがでした。初めて参加した通級生も途中でギブアップせず最後までやり抜きました。心も体もスッキリとしました。

そして、2月4日には節分の豆まきをしました。オニに扮した指導員をめがけて豆をエイヤッ！！と投げつけました。みんなのこのころの中の悪いオニを追い出すことができたでしょう。

暦の上ではもう春です。まだまだ雪の日もありますが、通級生にとって春は大きな転機になります。うれしい春を迎えられるように、通級生はそれぞれの目標に向かって頑張っています。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



教育相談班 3月の予定

《ふれあいルーム》

12日(火) 保護者会
22日(金) 通級終了日

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ(SST)

1日(金) 小学校A・B保護者会	15:00
8日(金) 小学校C保護者会	15:00
14日(木) 中学校①保護者会	15:00
15日(金) 中学校②保護者会	15:00



育成センター通信

0839

柏崎市青少年育成センター
〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2
TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

3・4月の予定

(3月)

日	曜	こ と が ら
8	金	昼間育成（育成委員 3・4 班）
19	火	昼間育成（育成委員 5・6 班）
27	水	昼間育成（育成委員 7・8 班）

(4月)

日	曜	こ と が ら
8~26 月~金		高校下校育成（育成委員）
23	火	夜間育成（育成委員 10・11 班）
30	火	昼間育成（育成委員 1・2・3・4 班）

青少年育成委員の活動状況について

4月～12月

平成24年4月から12月までの市青少年育成委員の育成活動状況がまとまりましたので、お知らせします。青少年のための街頭育成活動、環境浄化活動、啓発活動などに汗を流していただきました。育成活動は地道な活動であります。青少年の非行、犯罪の抑止力、防止につながり、成果が現れています。

【「愛の一声」育成活動】

（主な声かけの内容まとめ 4月～12月） 件数

主な成果

- ・声かけの際、子どもたちから返ってくるあいさつ、対応がよくなってきている。
- ・声かけは、青少年の非行防止、犯罪の抑止力になっている。
- ・対象事業所等への巡回による環境浄化意識の高揚と協力関係が構築されてきている。

課 題

- ・携帯電話やインターネット等の普及により、子どもたちの姿が見えにくい。
- ・保護者や家族などのインターネット等の利用に関する知識の普及。

内 容	小学生	中学生	高校生	少年一般
ゲーム遊び	15	14	13	0
玩具売場遊び	7	0	4	0
服装の乱れ	0	0	9	0
買い食い	0	0	2	0
本の立ち読み	21	15	41	23
喫煙	0	0	0	1
交通違反	4	5	30	14
カラオケ	0	0	24	5
挨拶	580	155	1502	144
合 計	627	189	1625	187

万引きの発生実態をお知らせします

新潟県内、柏崎警察署管内の万引き発生実態をお知らせします。

1 新潟県内における万引きの状況

(1) 万引き発生状況（平成19年～平成24年）件数

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
刑法犯認知	25,024	23,435	22,190	21,228	20,571	18,503
万引き件数	2,763	2,601	2,873	2,833	3,021	2,654

※刑法犯総数及び万引きは減少傾向である。

(2) 万引き多発警察署（平成24年）件数

新潟東	長岡	新潟西	上越	江南	新発田	新潟北	柏崎	秋葉
407	345	218	201	238	160	105	104	114

※上記警察署は100件以上の万引きがある。

(3) 成人（高齢者）と少年の検挙人員割合（平成19年～平成24年）

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
総数	2,070	2,028	2,036	2,063	2,347	2,037
成人	1,489	1,582	1,531	1,564	1,579	1,487
うち(高齢者)	(573)	(654)	(614)	(681)	(671)	(637)
少年	581	446	505	499	768	550

※ 高齢者の割合は平均30.4%で少年は平均26.6%である。

2 柏崎警察署管内における万引きの状況

(1) 柏崎警察署管内の万引き検挙人員（平成19年～平成24年）

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
総数	93	79	53	97	129	88
成人	76	77	47	77	91	63
うち(高齢者)	(29)	(37)	(26)	(41)	(39)	(37)
少年	17	2	6	20	38	25

※ 高齢者の割合は平均38.7%で、少年の割合は平均20.0%である。

万引きは犯罪です。

万引きを しない！ させない！ 許さない！

（柏崎警察署 資料提供）

3月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	金	相:SST小A保護者会15:00-
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	中学校卒業式
8	金	中学校卒業式 科:半田小要請講座(原子力広報センター)
9	土	
10	日	
11	月	相:班会議13:00-
12	火	ふ:保護者会15:00-
13	水	情:フリーQ & A
14	木	相:SST中①保護者会15:00-
15	金	相:SST中②保護者会15:00-
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	春分の日
21	木	
22	金	小学校卒業式 ふ:後期通級終了日
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	



鬼は外・福は内！

科学技術教育センター協力員 近藤 亜矢子

「お姉ちゃん、どんな鬼を追いついたって書いた？」ある日の、我が家の娘たちの会話です。学校の廊下に掲示する節分の飾りの話のようです。

「私、好き嫌い鬼を退治したいって書いたよ。」

「それって、去年とおんなじじゃん。」

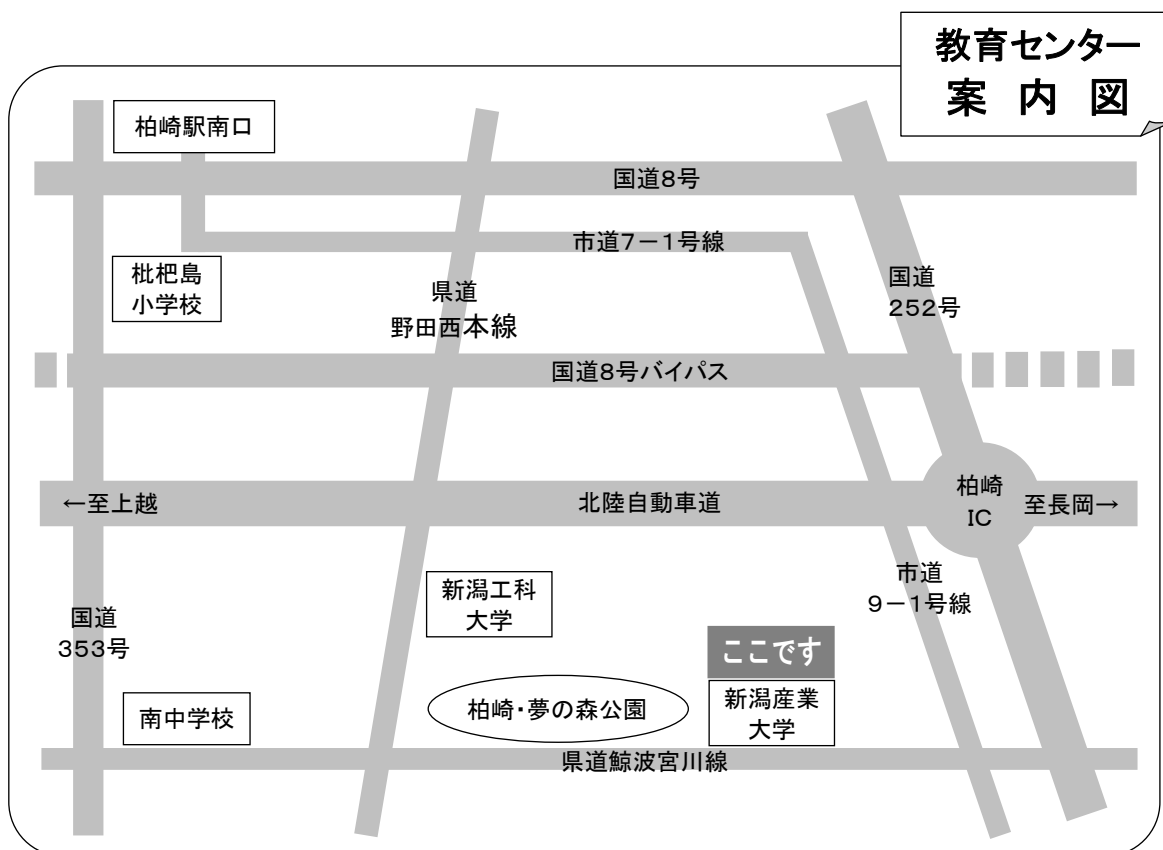
「でも…。そうなのだからいいの！」

「そうだ。ママは、どんな鬼を退治したい？」

私にふってきました。いきなり言われて、すぐには答えられません。「なんだろうね。」とちょっとはぐらかしました。でも、頭の中でいろんな鬼が出てきました。「面倒なことを後回しにしたい鬼」「早く早くと、せかしてしまう鬼」「心配症鬼」などなど……。自分の行動や毎日の振る舞いを、客観的に振り返る機会をもらったように感じました。

「節分」とは、季節を分けるという意味。次の日は立春です。暦の上では冬が終わり春になりました。昔から季節の変わり目には邪気（鬼）が現れると考えられており、それを追い払うために多くの地域で節分の日に豆まきが行われてきました。鬼を追いついた、よりよく生活したいという人々の願いが込められているのでしょう。それは今も昔も変わらない人々の気持ちなのかもしれません。皆さんはどんな鬼を退治したいですか？また、豆まきしましたか？恵方巻きもいいですね。

このような昔からの行事を子どもたちにも体験させ、大人も子どもも季節を感じたり自分の生活を振り返ったりする機会をもつということを、忙しい毎日でも、生活の中に取り入れていきたいものだなと感じています。そして、そういう時間を共有していくことが、大切なのではないかと考える今日このごろです。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でのお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で
使用している教科書のほか、各教科
書会社の小・中学校の教科書各
2冊、高等学校の教科書各1冊
を備え付けています。どなたで
も閲覧することができますほか、
小・中学校の教科書は、閲覧だ
けではなく貸出も行っていま
す。各教科書会社の学習内容の
取り扱いの比較、授業研究のた
めの教材研究などに役立てて
はいかがでしょうか。

教育センター代表TEL:0257-23-4591

代表FAX:0257-23-4610

E-mail:k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL:0257-23-1168

E-mail:kec@kenet.ed.jp

教育研究班(科学技術教育)TEL:0257-20-0212

E-mail:kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班(カウンセリングルーム)TEL:0257-32-3397

E-mail:soudan@kenet.ed.jp

教育相談班(電話相談)TEL:0257-22-4115

青少年育成センターTEL:0257-20-7601

E-mail:ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL:http://kedu.kenet.ed.jp

平成25年2月発行